

品川宿交流館 あれこれ

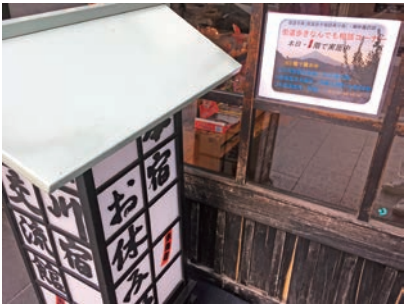
会報 みこしだこ 2018年 新年度版

2018年5月発行 第51号

◆街道歩きなんでも相談コーナー

昨年10月より毎週水曜日(10時～14時まで)に東海道品川宿交流館で実施中。東海道を中心に街道歩き35年、全国の街道と道に関する文献を収集し続けている街道文庫・田中義巳が街道歩きに関する疑問・困りごとの解決のお手伝いをします。街道話をしたい・聞きたいという方も歓迎です。・品川宿まち歩きの見所紹介・品川宿の歴史・朝鮮通信使の東海道通行について・享保の象・日本全国の街道マップなどなどの解説と資料提供。

偶然交流館に立ち寄った人々に対応しているだけなので、毎回数名ですが膨大な資料を基にかなり高度な相談にも対応できていると思っています。何処にもない自作の街道歩き資料提供もできているので、喜ばれ、感謝されることもあります。これからも細々と続けていくことで品川宿を訪れる人のお役に立てることがあればいいのかなと思います。(街道文庫・街道歩き相談承り処 田中義巳)



◆品川宿交流館の看板リニューアル

平成21年にオープンした品川宿交流館も今年で9年目に突入り、館の顔でもある看板もかなり老朽が進み危険度が増しておりました。山梨県早川町森林組合より贈呈された木材に新たな顔を刻み、品川区観光課に設置いただきました！



◆しながわ運河まつりく品川橋会場>

年々スケールアップする東品川会場公園にて開催されるくしながわ運河まつり。会場と東海道をつなぐ目黒川に架かる品川橋にて、品川橋通り街灯会のご協力のもと第2会場くさくら咲くテラスの設置をやってみました！DJブースから音楽が流れ、美味しいコーヒーやタピオカドリンク、孝庵さんのフンダンショコラ、surutoco主催の缶バッチづくりWS、道あそび、街道文庫の古本市＆ハレルヤ工房さんチョイスのアンティーク雑貨などが出店し、いつもと違った品川橋の上を多くの方々足をとめ楽しみました。今後も運河まつり実行委員会さんと相談しながら、水辺と東海道のつながりを生かした場づくりにチャレンジしていきたいと思います！



◆景観アドバイザー品川宿窓口

平成23年5月31日より品川宿地区における景観まちづくりの取り組みとして、地区内における全ての新築、増改築工事には事前チェックを行う「景観アドバイザー制度」を運用しています。区役所都市計画課にて行われている月3回の窓口業務のうち毎月第2木曜を、施工会社、関係者の方々に「東海道品川宿の景」をしっかりと感じてもらうため、現地である品川宿交流館にて窓口を移し、6月までテスト運用をしています。まち並みづくりに貢献する建築物の修景に対し交付される補助金制度のことや、建替え・増改築などの相談を希望される方はお立ち寄りください(※アドバイザー窓口は要予約)。

◆わいわい朝ごはん&晩ごはん

品川宿を訪れる方のお休み処としてだけでなく、地域住民ための交流の場でもある交流館をより活用するため、月に一度、土曜朝くわいわい朝ごはん会、平日夜くわいわい晩ごはん会という食卓を囲むことで顔の見える関係づくりや情報シェアをする試み、また大きなスクリーンで映画を楽しむく品川宿名画座を開催しています。晩ごはん会は交流館に隣接する北浜こども冒険広場で遊ぶ子どもたちやその親御さんが多く参加しており、会を重ねるごとに人数が増え、現在多い時には60名を超えることもありスタッフががてんてこ舞いになることもしばしば(お手伝い大募集！)ごはん会はいずれも参加者の「お持ち寄り」に支えられ、どなたでも気楽にご参加できますので、日程は交流館設置の月カレンダーをご確認のうえ、ふらりと覗きにきてください。



旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会<活動のカタチ>

江戸時代から変わらない、行き交う人たちの一期一会。さまざまなテーマを持った人たちのまちづくり活動が、今もなお品川宿で繰り広げられています。

まちづくり協議会の役割は、「まち」と「人」、「人」と「人」をつなぐ場づくり。それが月一度開催される「運営委員会」なのです。

「どなたも、ウェルカム! どんな提案もオケー! すべてオープン!」それが私たちのモットーです!

そこには、想いを持った人たちの「やりたいこと」がたくさん集ってきます。仲間の「やりたい」想いをカタチするために、まちのみんなで応援します。

組織運営

毎月最終火曜(原則) 21時～品川宿交流館にて「運営委員会」を開催し、まち協運営委員メンバーを中心にどなたでも参加できる会議を行い、設立以来ずっと続く地元の商店、企業、住民、外からやってくる方など世代やテーマを超え交流が生まれている。●運営委員会(月一)開催/賀詞交流会(年一)/総会(年一)/経過報告所作成/会員管理/会計業務

品川宿交流館運営

2009年1月にオープンした品川宿交流館は、まち協が品川区より観光案内所として運営委託を受けています。●無料おやすみ処/観光施設 運営/駄菓子屋またあした●イベント、ワークショップ企画●4階イベントスペース管理

まちの広報部

●HP・Facebookの運営/品川宿かわら版(不定期)制作・発行/メルマガ「品宿まち協通信」配信●取材・視察対応/その他まちづくり活動に関わる相談

まち並み整備プロジェクト

●景観アドバイザー●品川駅南地区再開発

交流事業

●宿場まつり●NPO 歴史の道 東海道宿駅会議●東海道シンポジウム ブロック会議●つなぐプロジェクト(街道松、桜、石畳、まち並み、灯り)●地域間交流イベント企画・運営

新版まちづくり計画書プロジェクト

まち協バイブルとして平成7年作成の「東海道品川宿まちづくり計画書」。次世代のために新たな計画書づくりがはじまっている。

水辺プロジェクト

●しながわ運河まつり●目黒川で泳ぎ隊/目黒川桟橋・勝島運河桟橋/勝島運河倶楽部●天王洲エリア交流

東海道品川宿スポーツタウン・プロジェクト

●東海道品川宿FC(小中学生、社会人の競技フットサル)●FC品川サッカースクール(協力:中学校体育連盟品川支部、(財)六行会、品川区少年サッカー連盟等)●品川区立鈴ヶ森中学校サッカー部への外部指導者としての協力●パトロールマラソン

品川宿アカデミア構想

●法政大学院デザインスタジオ作品発表会●まちゼミ●品川宿史談会●地元ディスカバリーツアー/空き家空き店舗視察/まちの学校・ワークショップ

しながわっこプロジェクト

●品川宿交流館「職場体験」受け入れ●城南第二小学校・台場小学校「まち歩き」/品川学園(自治委員会)など各学校の取り組み●品川宿小学校6校対抗「東海道駅伝・マラソン」

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会 会員募集のご案内

まちづくりはみんなでたのしく! どんな提案もオケー、どなたでもウェルカム、すべてオープンです。品川宿では今日もどこかで何だか楽しそうなことが動いています。お預かりした会費は各プロジェクトの運営費としています。

1. 広報活動(会報「みこしだこ」、「品川宿かわら版」の発行、HP・FB運用など)
2. 交流館運営(来宿者へのおもてなし、地域活動イベント受入など)
3. サポート事業(区内学校支援、伝統文化実演、まちゼミ、サッカースクールなど)
4. 地域事業の主催・共催・協力(しながわ宿場まつり、しながわ運河まつり、品川浦・天王洲運河ルネッサンス協議会、史談会、キッズハロウィンパレードなど他多数)
5. 応援プロジェクト(しながわ福祉住宅ネット、品川人力車、ゲストハウス品川宿など他多数)

年会費/団体・法人 30,000円 個人 10,000円

一度遊びにいらしてください。
ご連絡お待ちしております!
品川区北品川2-28-19 品川宿交流館
電話 03-3472-4772 FAX 03-3472-4770
メール machikyo@west.cts.ne.jp
HP(品川宿おぼえ帖)http://shinagawa-syuku.net/



昭和63年
～
平成2年

発足～揺籃期

発足の経緯：土山宿で開催された第一回東海道シンポジウムに参加。主催者・松山正己町長(当時)の「東海道の歴史性を生かしたまちづくりを進めよう。53次のネットワークを結ぼう」という呼びかけに賛同。品川宿周辺の全町会、商店街、区民、企業に呼びかけ、品川区も参加して発足。会長・佐藤武夫。「まちづくりの基礎調査」や「ぐるり品川道しるべ」の発行などに取り組む。第二回東海道シンポジウム＆ウォークラリーを開催。「鐘の街／しながわ」をテーマに第一回宿場まつりを開催。ジュネーヴ市との交流が始まる。会長に堀江新三が就任。



まちづくり計画書作成まで～基礎固め

「まちの宝探し」ワークショップを開催。「まちづくり計画書」作成に向けて計画的に活動を進める。浜松宿より第一号となる街道松の寄贈を受ける。街道松の広場を整備。「まちのお宝発表」イベントを開催。「まちのお宝マップ」とそれをベースにした「まち歩きマップ」を発行。「新宿お休み処」を開設し、まち歩きに訪れる来街者をもてなす。「まちづくり基本構想書」を作成。各プロジェクトごとの活動が始まる。長浜、大垣をはじめ、各地のまちづくりの先行事例を調査。「まちづくり計画書」が完成。以後のまちづくり活動のバイブルとなる。毎月1回、まちづくりについて自由に語り合う「品川宿のタベ」を開催。不定期だった会報「みこしだこ」を年2回定期発行。

平成3年
～
平成7年

平成8年
～
平成13年

具体化の第一歩～まち並み整備第1期

今後のまち並みを考える参考に栃木、足利などへ「まち並み見学会」を開催。基本的なまち並みのあり方、「まちの作法、無作法」について基本方針をまとめる。青物横丁の石畳整備、電柱電線整備に取り組む。「東海道400年祭」のオープニングを神輿パレードで飾る。



平成14年
～
平成19年

まち並み整備第2期

薩摩熱間会議との交流始まり、さつま品川塾が発足。品川・ジュネーヴ友好協定締結15周年行事を品川宿で執り行う。花時計の贈呈を受ける。「東海道周辺地区景観形成基礎調査報告書」を作成。「東海道周辺まち並み整備事業計画書」を発表。石畳、街路灯、サインなどのデザインを示す。周辺97店舗の参加を得て各個店のファサード整備、石畳、街路灯、サインなどの整備を実施。「景観計画」の準備に取り掛かる。



平成20年
～
平成24年

景観計画法法定施行まで～まち並み整備第3期

「品川宿交流館の整備計画書」を作成。品川宿交流館開館、運営を開始。品川・ジュネーヴ友好協定締結20周年行事に参加(於・ジュネーヴ市)。北品川3商店街で電線の地中化工事を進め、「東海道周辺まち並み整備事業計画書」に基づき品川宿全域で共通デザインの石畳、街路灯、サインなどを整備し竣工を見る。「品川区景観計画」が法定施行され、品川宿が重点地区に指定される。5年計画で助成制度「まち並み整備事業」を実施。景観計画上のモデル整備を進める。地域の活動団体、おばちゃんち、なぎさの会、各NPOとの連携が深まる。



平成25年
～
平成30年

景観整備＋活動の多様化～充実期

独自の景観アドバイザー制度を採用。品川宿内の全ての新築・増改築工事の事前チェックを実施。引き続き5年計画の助成制度「まち並み整備事業」を実施。景観計画上のモデル整備を進める。地域の活動団体と連携し、多様な活動を展開。しながわっこプロジェクト、路地の灯籠プロジェクト、運河まつり、東海道品川宿FC、わいわい朝ごはん&晩ごはん、周辺小学校対抗駅伝マラソン、品川宿いどばた、街道文庫田中さんのまち歩きコンシェルジュの活動などなど多様な活動を展開しており、設立30年を迎え充実期を迎えている。



品川区からの委託事業「明治維新150年記念特別事業」

今年は明治維新からちょうど150年の節目の年にあたります。そこで品川区では歴史館をはじめ、しながわ観光協会、品川宿交流館などを通じて、「品川区と明治維新」の関わりを広く発信していく計画を立てており、その一環として、観光課からの委託で以下の事業を実施します。これを機に品川宿を訪れる意味、価値、楽

しみをアピールし、来街者の増加につなげたいと考えています。
プログラム構成は以下の通り。
1)品川宿交流館展示
明治維新と品川宿の関係を4つのテーマに分け、展示替えしつつ展開。
2)まち歩き
テーマに沿った「まち歩き」を月1回程度開催。

3)ワークショップ
品川宿だからこそ提供できる企画を月1回程度開催。
4)シンポジウム
専門研究者、地元の識者、著名人を招き、荏川倶楽部で開催。
5)ブックレット
上記の成果を冊子に編集し、発行する。



品川宿史談会

品川宿史談会初年度事業が終了致しました。今年度も開始致します。品川区、区民活動助成制度の助成内容が拡張されたのに伴い、思い続けた品川宿の研究を深めたいという活動に火が付き、応募・採用され年4回の講演会を何とかやりおこせ

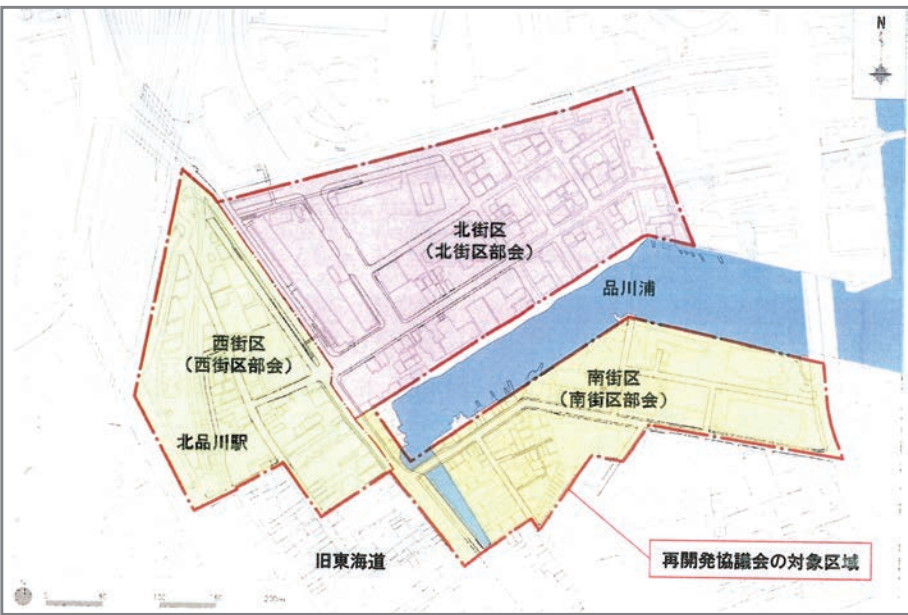


ました。30年度の事業にも、前年度のやり残しや、広報の未熟さから多くの人に活動をお伝え出来なかったことを肝に銘じ、挑戦が認められました。
平成31年度事業のあらまし
1)29年度の講演会記録の発刊
2)29年度の講演会内容を多くの、また年齢層の広い人達に関心を持ってもらうように、テーマを日常の事にひろげたいと考え、かつて、毎週のように行われていた縁日に因むもの、神社の祭典に奏でられる品川拍子の記録と、解説などをとりいれました。今のお父さん、子供さんにはぜひ、昭和の縁日、祭りの情景を報告致します。

3)もう一面の講演のテーマは、研究が行き留まっている地域史の中から、南品川獺師町の研究が、従来の歴史家の研究に風穴をあけるような都市計画史の研究から大学院修士論文が発表されました。幕末・維新から昭和の獺師町の風景が見えるよう講演です。
4)最後に、なかなか取り上げにくく、そして品川宿の根底に流れている、鈴が森刑場に引かれて行く人びと。その正史は発見されずに来ました。平成26年末、国立公文書館特別展「江戸時代の罪と罰」が開催されました。現代最も時代の事実を書き残された文書が公開されました。これに基づき講演会を開催致します。

以上、多様な取材源から品川宿の歴史を深め、広げてゆきたいと思います。これらのテーマはそれがふさわしい地域の会場を選定したいの思ひも今年度の課題です。さらに28年度の講演会には北品川、南品川、東品川の方の多くのご参加を頂きましたが、思いもかけず、品川地域以外の方の参加も多かったことを考え、今年度はホームページの作成により、講演会の情報発信を行います。間もなく情報を掲載致します。スマホ利用の方にも広くお伝え、参加申し込みを受け付け致します。

(新実正義)



品川駅南街区のまちづくり

品川駅南地域の未来を創る推進協議会の平成29年度の総会が平成30年度4月に開かれました。平成28年度はA、B、C地区のそれぞれの地区協議会作りが進められ、一応成立致しました。また年度始めに、京急立体化の東京都・京急の発表が有り、共に北品川駅前に交通広場を計画するという品川区の発表が有りました。これについて役員会の中で事前の相談も無く、事務局から事前の報告も無いうに、区の立場から役員会に説明するのみで、役員から、旧東海

道にとって重大な影響を与えようという厳しい意見が多々出されました。事務局は役員会の意見を区に伝えているのかという、事務局の役割にも疑問が投げかけられ、南地域の開発計画が、各地区に協議会が出来たことにより、その中での協議に封じられると言う事態が出て来ているのではないかという危惧もあり、まちづくりは地区内のみならず、周辺地区にも多大な影響も与えるので、広く公表すべきとの意見が出ました。

(新実正義)

「北品川駅駅前広場都市計画案」が全面見直しに

品川宿の周辺は、今やすっかり再開発に取り囲まれています。そんな中にある品川宿には今も、東海道を背骨に、横丁と路地があら骨のよ



うに連結しあって、江戸時代以来のまち並みを維持しています。もちろん12、3階建てのビルも増えてはいませんが、でもそれは極めて小規模なものでも、いわゆる大規模再開発とは次元が異なります。もしもこの品川宿にも品川駅前のような再開発計画が持ち込まれたら、この昔ながらの街並みと、そこに育まれてきたコミュニティは瞬間に消滅してしまいます。もちろんあの祭囃子も聞こえてはき

ません。そんなことがあってはならないという気持ちが、私たちが平成7年にまとめた「まちづくり計画書」の精神で、「100年後の子供たちにも祭を引き継いでいく、それが品川宿のまちづくりだ。」と言い続けてきているわけです。今回、品川区から示された京急線立体化工事に伴う計画案は、北品川駅前を車両が旋回できる西大井駅前と同じ規模の交通広場(つまり道路)とする案と、清水横丁を拡張して12m幅の道路に整備しようという案の2本立てです。この案について地元の北品川1丁目町会の皆さんと再三協議を重ね、その必要性を議論しましたが、この計画では品川宿のまち並みもコミュニ

ティも消えてしまう、という意見が多く聞かれました。そこで北品川本通商店会、北品川商店街協同組合、当協議会の三者連名で、計画案の見直しを求める意見書を区に提出しました。そして濱野区長にも直接面談し説明したところ、「品川宿らしさが失われてしまう可能性がある」として、計画案を全面的に見直す旨の回答をいただきました。現在(4月末時点)、区は東京都との調整を進めています。区の担当の方には大変に負担をかけてしまいますが、ここはやはり次代を担う品川っ子のために、ぜひとも力を尽くしていただきたいと願っています。

東海道品川宿FC

地元品川区で、「スポーツを通じた街づくり」「スポーツを楽しむ環境、仲間作り」を目指したサッカー・フットサルクラブ「東海道品川宿FC」が誕生して今年で3年目になります。仲間作りでは、選手の人数も幼児、小学生、中学生、社会人を合わせて100名となりました。またクラブを応援してくれる人や企業も多くなってきました。環境作りでは、4月に行われた「しながわ運河まつり」で、「小学生・中学生のサッカー大会」、「大人のフットサル大会」、「小学生フットサル体験会」、「中学生サッカー体験会」、「親子フットボール」などフットボールフェスティバルを行うことができました。参加者や応援に来てくれた人たちを合わせると

3日間で1,000名近い人たちが参加してくれました。スポーツで地域の人たちと交流することができました。多くの人が参加できるイベント、チームとして試合で勝利できるように頑張りますので応援よろしく願ひいたします。(松村圭祐)



品川エリア限定の民泊事業「品川宿場MINPAKU」立ち上げ

2018年6月より、いよいよ民泊法(住宅宿泊事業法)が施行、規制が緩和されます。一定の条件を満たした物件で、行政に登録を行えば、自宅の空き室や手持ちの物件で、これまでの許可制度に比べると簡単に宿泊提供ができるようになります。現在既にある民泊施設の中には、行政の許可を得ていなかったり、宿の近くにスタッフがおらず無人での対応をする施設も多く、近隣の住民とのトラブルも発生しています。そこで私達は、これまでの品川での

宿運営で得たノウハウ、人材、そして地域との関係性をフル活用し、お客様も物件のオーナーさんも地域も安心で満足できる民泊事業をスタートさせます。民泊運用を考えてるオーナー様に、他の代行サービスとは違う、品川エリア限定の民泊サービスを提供し、安心で満足度の高い民泊は品川にあるというエリアブランドを作り上げることに貢献していきます。(宿場JAPAN 和田紀子)



しながわっこ灯籠プロジェクト活動報告

昨年9月に松の広場、しながわ宿場まつり、秋の運河花火まつりと3回にわたり城南第二小学校3年生が作った手作り灯籠作品100個を飾りました。今年度も城南第二小学校の80周年記念にあわせて300個の手作り灯籠を飾ります。また、7月21日(土)品川区環境情報

活動センター(こみゅにていぶらざ八潮)にて地域の環境学習講座のなかで手作り灯籠を制作することが決まっております。灯籠キッドの改良を重ね、材料費を抑えることもできつつあり、小学校の予算内で届けられるのも近いと思います。将来は子供たちが制作した灯籠を一つ一つ持



開校しました! ご近所大学うなどこキャンパス

誰もが先生、誰もが生徒! 趣味や特技を活かして講座を開き、交流しながら楽しく自主的につくる学びの場です。こんな講座やりたい・受りたい。そんな思いを大歓迎! 応援します。運営ボランティアさんも募集です。

「地域とともにある学校」を応援します!

昭和63年(1988年)まちづくり協議会設立以降、「みこしだこを伝えるまちづくり」をモットーに活動を続けてきました。「みこしだこ」という言葉は、東海道品川宿の祭り、歴史、文化など「まちの宝物」を象徴する言葉です。平成30年度、学校運営に地域の人たちが関わる「品川コミュニティ・スクール」が、区内すべての小中学校に導入されました。まちづくりに関わってきた多くのメンバーが、校

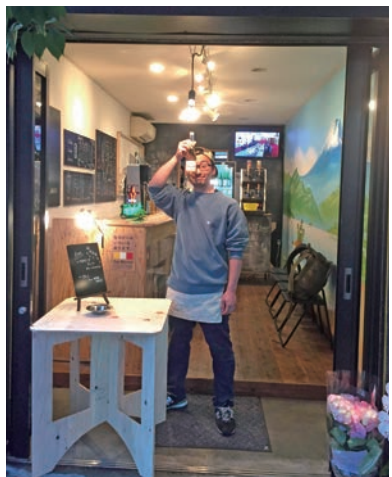
区教育協働委員会などを通じて、学校運営に協力しています。これまでも、しながわっこプロジェクトや地域イベントを通じて、地元の子どもたちを応援してきました。これからは、「みこしだこを伝えるまちづくり」を地域と学校の共通の目標に、より継続的な教育活動に発展していけると考えています。「地域とともにある学校」をこれからも応援していきます! (竹中茂雄)



レンタルスペース<スキマ>の新企画!

北品川2丁目にて、2015年8月「KAIDO books&coffee」を立ち上げた(株)しながわ街づくり計画の佐藤です。この度、青物横丁商店街に立ち飲み屋、「PUBLIC BUBB」をオープン致しました。同店は2013年よりレンタルスペース スキマとして運営しておりましたが、この機に業態変更となりました。営業日は平日のみとなりまして、土日祝日はレンタルスペースとしての貸し出しも予定しております。ご希望の方は気軽にご相談ください。「PUBLIC BUBB」では、りんごの発泡酒である国産シードルを多種取り扱っており、都内でも珍しいお店です。仕事帰りに、「軽く一杯」是非呑みに来てください。

(株)しながわ街づくり計画では、商店街に老若男女、世界中の人々が集える空間をつくり続けてまいります。今後とも宜しくお願い致します。(佐藤亮太)



ち寄って旧東海道の路地やお祭りの会場で灯すことができたらきっと皆さんの思い出になると思います。地域住民や企業、学校が協働しながら今後も進めてまいります。ご協力よろしくお願いいたします。(東京サラヤ 小野文義)



英会話教室、和楽器ライブ(本照寺本堂6/24)、キャラおにぎり講座(7/7)は、ご近所さんからの持ち込み企画。お茶会・映画会・夕食会など気軽にお寄りください。「ご近所大学」は全国に仲間がいます。京都舞鶴、広島生口島・世田

谷経堂。今後は長野辰野町、鹿児島県奄美群島などなど仲間ができています。東京と地域の交流。サテライト講座も検討中。品川から日本全国をご近所にしよう! (田邊寛子)